

平成30年度熊本市手をつなぐ育成会職員全体研修会（報告）

1 講 話

今年の全体研修では、社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本福祉センター 済生会なでしこ園園長の勝本映美様より、「障がい福祉サービスに携わる者に求められること」という演題でご講話をいただきました。

勝本先生は、長い間、障がい福祉に信念と情熱を持って携わって来られた方で、市育成会ともつながりが深く、昭和の時代から、青年教室・つなごう会のご支援をいただいています。また、しょうぶの里の利用者さんの後見人もしていただいています。

先生の豊富な知識、ご経験に基づいたお話は、職員の心に響く内容の濃いものでした。

事後のアンケートでも、「一言一言が心にしみました。じっくり支援について勉強しようと思っています。」「利用者さんの可能性を理解する、分かろうとすることが支援だということを初めて知りました。」「今の自分を振り返ることができたのはよかったです。何を大切にすべきかを再確認できました。」といった意見がたくさん出されていました。職員は大いに啓発を受け、深い学びができたことと思います。



済生会なでしこ園 勝本さんのご講話

2 各事業所からの報告

次は、「～より相互理解を深めるために～」、各事業所からの報告です。

各事業所からの報告を入れた意図は、以下のとおり、まずは、育成会の各事業所の取組みについて知ってもらうということです。

- ① 各事業所についての相互理解を深め、一体感醸成の一助とする。
- ② 午後のグループディスカッションを進める上での参考とする。

加えて、今回、しょうぶの里から育成会九州大会で発表をすることになっていましたので、併せて、

- ③ 職員の資料作成や発表・報告等に関する経験拡大、プレゼンカの育成。

も意図して、6人の職員に各事業所からの報告（発表）をしてもらうことにしました。

初めてプレゼンソフト（パワーポイント）を使う職員がほとんどで、不慣れなソフトで資料を作成し、12分間の制限時間で発表。何を、どう伝えるか？ 伝わるか？ 等々、不安もあったと思いますが、何ごとも経験とがんばってもらいました。

多くの職員は、自分が所属する事業所以外のところを知る機会はありませんので、各事業所からの報告のプレゼンを見聞きして、理解を深めることができたのではないかと思います。

- ①第二ぎんなん作業所
- ②しょうぶの里（入所）
- ③しょうぶの里（通所）
- ④グループホーム
- ⑤子ども育ちの家「て・い・く」
- ⑥地域生活支援センター「ぎんなん」
- ⑦育成会九州大会の発表リハーサル

前田 修
 松本 大志
 志賀 竜平
 除野 克典
 植田 貴大
 米村 尚哲
 村上 理優子



報告 第二ぎんなん作業所



報告 しょうぶの里・入所



報告 しょうぶの里・通所



報告 グループホーム



報告 相談支援センター



報告 て・い・く

参加者からは、「各事業所のことはあまり分からなかったが、今日の研修会で理解できました。」「各事業所がどのような日常を送っているのか分かりやすく報告してあった。」と好評で、がんばって資料作りやプレゼンをした成果があったと思います。

今後は、少しずつ広げて、将来的には、支援に携わる職員が1人1事例で実践報告できるようにできればいいなと思っています。



九州大会発表リハーサル

3 グループディスカッション

「支援（サービス提供）の質の向上をめざして」というテーマで、昨年度に続き、グループディスカッションを行いました。

育成会の事業所として、大切にすべきことは何か。何を大切にして、日々利用者に関わっていかねばならないかといったことを、本日の勝本先生のご講話や各事業所報告、日頃の実践事例をもとに話し合い、よりよい支援（サービス提供）を目指したい。さらに、さる8月10日、西区の高齢者グループホームで、職員による入所者に対する傷害致死事件を、

「他山の石」として、今一度、一人一人が利用者さんとの関わりのあり方を考えることが重要だと考えました。

普段、あまり会うことのないそれぞれの事業所の職員が顔を合わせ、意見交換をする。最初は身構えているところもありましたが、段々とほぐれてきて、活発な意見交換がなされていました。

また、グループごとに、進行（司会）や記録（報告者）等の役割も分担。さまざまな役割を経験することも大切と考えています。



参加者からは、「色々な意見を聞いてよかった。色々な意見があったが、根本は同じで、みんな一生懸命にやっていると感じでうれしかった。」「支援に対する他者の思い、自分の思いを聞いたり話すことができた。」「本筋の話はもちろん、付随した脱線話からも様々なヒントが出ていたと思う。」といった意見が出されていました。



グループディスカッション



グループディスカッション



グループディスカッション報告

《まとめ》

本研修会の目的である「熊本市手をつなぐ育成会に所属する職員が一堂に会する研修会を通して、職員の資質向上を図るとともに、育成会職員としての意識を醸成し、所属を超えた一体感を持つことができるようにする。」にどこまで近づくことができたか？



一堂に会した育成会職員

アンケートの記述には、「各事業所より集まり研修会を行ったが、2回目の今回ではまだまだ統一感を感じられなかった。」というものもありました。

確かに、「所属を超えた一体感」は一朝一夕にはできるものではないだろうと思います。

まずは、育成会には、どんな事業所があって、どんな人がいて、どんな業務を行っているか、といったことを職員どうしが知ることが第一であり、そして、今回の研修などを通して、顔の見える関係をつくるのが大切だと思います。これまでの2回の研修会を通して、徐々にこれらはできつつあるのではないかと考えています。

徐々にできつつある顔の見える関係をもとに、目的とする「育成会職員としての意識を醸成し、所属を超えた一体感」を目指して、今後も必要な取組みを行っていきたいと考えています。

文責：しょうぶの里施設長兼統括施設長 高橋 次郎